

SLCONFIGの操作

2011.03.02 JF1PYE

- I. PC と slconfig の通信設定
- II. Slconfig の操作
- III. 端末ソフトによる Command 機能
- IV. slconfig 実行形式プログラムの作成
- V. 端末ソフト”Tera Term”のダウンロード、インストール、設定

Soliloc-10G、Slconfig の開発・提供ならびに本書を作成するに当たり情報提供を頂いた
JF1WKX 勝間氏に感謝いたします

I. PC と slconfig の通信設定

1. 準備

- 1-1 Soliloc-10G の電源を OFF にする
- 1-2 PC を立ち上げる
- 1-3 アダプタを PC の USB コネクタまたは RS-232C コネクタに接続する

2. PC の COM ポート番号の確認と設定

- 2-1 コントロールパネル⇒(システム⇒ハードウェア⇒) デバイスマネージャーの順にクリック

ポート (COM と LPT) の項は以下の様に表示される (COM の番号は環境で異なる)

- ・通信ポート (COM1) . . . (PC に RS-232C ポートがある場合に表示される)
- ・USB Serial Port (COM3) . . . (USB アダプタがある場合に表示される。

USB アダプタを使用しているのに表示されない場合は、
USB アダプタが PC に認識されていない！！

メーカー提供のデバイス・ドライバが正しくインストール
されていない可能性がある)

- 2-2 使用する COM ポート をダブルクリックし、ポートの設定タブ をクリック
ビット/秒 として 9600 を選択し OK をクリック

(注意) 使用する COM ポート番号 を覚えておくこと

- 2-3 開いたデバイスマネージャー等を全て閉じる

3. Slconfig の COM ポート設定

- 3-1 Soliloc-10G とアダプタを接続

- 3-2 Slconfig を起動する

下の窓に Welcome to Solilock Configurator が表示される

- 3-3 Com Port タブをクリック

左の窓 : PC に設定した COM ポート番号を選択

右の窓 : 9600 を選択

- 3-4 Soliloc-10G の電源を ON にする

下の窓に OA OD 等が表示される

(これが表示されなければ、PC と Soliloc-10G は正常に通信が行われていない！！)

4. 終了

- 4-1 close をクリックし、Slconfig を終了する

- 4-2 Soliloc-10G の電源を OFF にする

以上で、PC と Slconfig の通信設定は終了

II. Slconfig の操作

Solilock10g および Slconfig の詳細に関しては、勝間氏作成の **solilock10g 説明書** を参照のこと。

ここでは、簡単に Slconfig の操作のみを紹介する。

PC と USB アダプタまたは RS-232C レベルコンバータ および solilock10g を接続し、Slconfig を起動する。

続いて、solilock10g の電源を入れて、Slconfig の下の窓に **0A 0D** 等が表示されたことを確認する
(表示されれば、PC と solilock10g の通信は正常)。

1. Manual Write タブ (Slconfig の初期画面)

Manual Write タブをクリック (他のタブが開いているなら)

周波数データを Soliloc-10G のメモリに書き込む

1-1 LocalOutput (MHz) に入力周波数を入力 (MHz の桁の後ろにピリオドを入力)

1-2 search をクリック

1-3 結果を確認 (RatioFinder および Result)

1-4 書きたい Memory Channel 番号をクリック

1-5 set をクリック

1-6 1-1 ~ 1-5 を必要なだけ繰り返す

1-7 必要な CH への全ての set を終了後、Write をクリックし、set した内容を Soliloc-10G のメモリに書き込む

(Soliloc-10G に書き込んだ内容が下の窓に表示される)

(注意) set しなかったチャンネルには NULL が書き込まれる (過去の設定は全てクリアされるので要注意)

1-8 header file をクリックし、書き込んだ周波数等と set 情報をテキストファイルとして Slconfig.exe のあるフォルダに作成する (ファイル名は” 年月日_時分 param.h”)

2. RemortControl タブ

一時的に任意の CH に切り替える

RemortControl タブをクリック

(CH リストが表示される)

CH 番号をクリック : その CH に登録されている周波数へ切り替える

元の状態に戻すには、Soliloc-10G の電源を OFF/ON する

3. LowLevelCommand タブ

以下のコマンドが使える

LowLevelCommand タブをクリック

Erase A : 開発者用

Erase B : 開発者用

Erase AB : 開発者用

Initialize : Soliloc-10G のイニシャライズ。

勝間氏から入手時のメモリー内容に戻る。

Dump : 開発者用 (Soliloc-10G の全 CH 情報が下の窓に表示される)

Ⅲ. 端末ソフトによる Command 機能

PCの端末ソフト（*）から、以下の文字列を送信することにより、コマンドが実行される
（コマンド + Enter キー）

- kxxxxxxxx** : 一時的に任意の周波数に変更する
文字 k に続けて周波数を KHz 単位で指定する
例 k12000000 : 12.000000 GHz で動作する（VCO の対応範囲内）
- 数字** : 一時的に任意の CH に切り替える
入力した[数字]の CH に登録されている周波数へ切り替える（[数字]は、0~7 ）
（Ⅱ. 2. の RemortControl に同じ）
- I** : Soliloc-10G のイニシャライズ。
勝間氏から入手時のメモリー内容に戻る
（Ⅱ. 3. の Initialize に同じ）
- A** : Soliloc-10G の全 CH 情報が端末に表示される
（Ⅱ. 3. の Dump に同じ。表示場所は端末）

（注意） 端末ソフトと Slconfig を同時に実行することはできない
どちらか一方のみを起動すること

（*）[端末ソフトの紹介]

フリーウェアの定番端末ソフトとして” Tera Term” がある。
Windows 系で、Windows 7 まで対応している。
ダウンロード、インストール等は、Ⅴ. を参照のこと

IV. slconfig 実行形式プログラムの作成

slconfig はCD上に圧縮形式のプログラムとして提供されているので、以下の手順でPC上の実行形式プログラムに戻す必要がある

1. Solilock フォルダを作成

適当（適切）なところに、Solilock フォルダを作成する

2. 作成した Solilock フォルダに提供されたCDの内容を全てコピーする

3. slconfig の実行形式プログラムの作成

- ・ Solilock フォルダの中の sl10gconfig.zip をWクリック
==>sl10Gconfig1.1 フォルダが作成される
- ・ sl10Gconfig1.1 フォルダの中の slconfig.exe をWクリック
==> ”すべて展開” をクリック
==>圧縮フォルダの展開ウエザードの開始の”次へ” をクリック
==>展開先の選択画面の”次へ” をクリック
==>”完了” をクリック
==>sl10Gconfig1.1 フォルダの中にカラーアイコンのついた
slconfig.exe が作成される
(これで、slconfig の実行形式プログラムが作成された)
- ・ カラーアイコンのついた slconfig.exe を右クリックをして ショートカットの作成 をクリック
==>作成された” slconfig.exe へのショートカット” をデスクトップに移動

4. slconfig の起動

- ・ slconfig を起動するには、デスクトップの” slconfig.exe へのショートカット” を
Wクリックする

V. 端末ソフト”Tera Term”のダウンロード、インストール、設定

以下の手順で、”Tera Term”をダウンロード、インストール、設定を行う

1. ダウンロード

適当（適切）なところに、Traterm フォルダを作成し、次の URL よりダウンロードする

<http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/servernt/remote/utf8teraterm.html>

- ・ DOWNLOAD
8.84MB
の DOWNLOAD をクリック
- ・ 黄色い部分の
teraterm-4.68.exe
をクリック
- ・ ファイルのダウンロード-セキュリティの警告 画面が表示される
保存 をクリック
- ・ 名前を付けて保存 画面が表示される
保存先を先に作成した Traterm フォルダを指定して、保存 をクリック
(ダウンロード実行 2~3分)
ダウンロードが完了しました が表示される
- ・ 閉じる をクリック

2. インストール

フォルダ Teraterm の teraterm-4.68.exe をWクリックし、通常のインストールを行う
途中の問い合わせには、以下の様に答える

問 い 合 わ せ	選 択	ク リ ッ ク
・ 言語	日本語	OK
・ 使用許可 . . .	同意する	次へ
・ インストール先 . . .	(変更せず)	次へ
・ コンポーネント . . .	(変更せず)	次へ
・ 言語	日本語	次へ
・ プログラムグループ . . .	(変更せず)	次へ
・ 追加のタスク . . .	(変更せず)	次へ
・ インストール準備完了 . . .		次へ
・ LogMett . . .		Cancel
・ Exit Setup		はい
・ Welcome to the TTL . . .		Cancel
・ Exit Setup		はい
・ Tera Term セットアップ		完了

デスクトップに” Tera Term ” のショートカットができていることを確認
以上で、 Tera Term のインストール完了

3. 設定

Tera Term のショートカットをWクリックし、起動する

- ・ Tera Term : 新しい接続画面 が表示される
 - ・ シリアル を選択
 - ・ ポート に使用する com 番号を選び OK をクリック
- ・ Tera Term VT 画面が表示される

- ・ 設定タブをクリック
 - ・ メニューより **端末** をクリック
改行コード
 - 受信 CR+LF を選択
 - 送信 CR+LF を選択を選択し、OK をクリック

- ・ 設定タブをクリック
 - ・ メニューより **シリアルポート** をクリック
 - ポート 使用する com 番号
 - ボー・レート 9600
 - データ 8bit
 - パリティ none
 - ストップ 1bit
 - フロー制御 noneを選択し、OK をクリック

- ・ 設定タブをクリック
 - ・ メニューより **設定の保存** をクリック
Tera Term : 設定の保存画面で、**保存** をクリック
- ・ Tera Term を終了する

以後、Tera Term を起動すると、この設定で立ち上がる。

以上